

弊社理事長の戸村智憲に対する風評被害・営業妨害等の可能性についての見解

日本マネジメント総合研究所合同会社

2015年1月17日 (阪神淡路大震災の発災より20年)

阪神淡路大震災・東日本大震災をはじめとする各種災害等で被災された方々・復興者さま (復幸者さま) のご安全・ご多幸・ご健勝とともに、ご無念ながらに天上に召されました尊い御霊・御仏のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

以前にご連絡を頂き実際に弊社理事長も確認致しましたが、どうも弊社理事長が軟禁された事件があった際、軟禁および各種問題行為を行っていた某企業に刑事告訴を行うべきかと検討しておりました頃より、同社にとって都合の悪いネット記事が不自然に検索エンジンからはじかれはじめ、推測するところ、逆SEO対策を施した上に、時を同じくして「戸村智憲」の名前を検索エンジンに入力・検索すると、検索予測の掲載にて「戸村智憲 銭ゲバ」「戸村智憲 自慢話」といった弊社理事長に対して悪意をもった検索エンジン対策が施されたと推察される形跡があったようでございます。

事実と異なる誹謗中傷およびネット上の営業妨害行為として、事実確認を含め悪意ある対応が確認されました際は、顧問弁護士等と相談の上で弊社としまして民事・刑事の両面で厳正に対処して参ります。

なお、実際に検索してみたところ、「戸村智憲 銭ゲバ」という検索予測候補では、弊社理事長および弊社とまったく関係ない書籍のタイトルや文章等と無理やりに関連づけられているようでございました。

また、「戸村智憲 自慢話」の検索予測候補におきましても、弊社理事長および弊社と関わりない文字列中の「自慢」という単語等を、「戸村智憲」という個人名に無理やり関連づけられておりました。

弊社理事長も弊社としましても、言論の自由および表現の自由等を尊重しつつネットにおける倫理等にも基づき、特に逆SEOなどの問題行為ともされ得る対応を行わず、戸村および当社に対する誹謗中傷・営業妨害行為に抵触する状況について、当サイトの本項にてご連絡・注意喚起させて頂く次第でございます。

現在、一部の検索エンジンでは、不自然に関連づけられた悪意ある対応と思われるものはほとんど表示されなくなっていますが、依然として、「戸村智憲」という個人名と悪意ある文言の検索予測候補の掲示は継続しているよう
でございます。

もし問題行為が事実なら、また、法的・倫理的に問題なく社会的通念に照らし公正妥当に批判されるべきものがあるなら、弊社理事長および弊社は甘んじてご指摘を承りますが、根拠なく悪意ある違法行為または民暴的な対応に関しては、反社の観点からも同企業またはその関係者がもしも行っていたとするならば、厳正かつ慎重に対応を検討し毅然と対応させていただきます（弊社の反社原則を掲載しておりますし、それ以前に問題ある企業さまは反社の適否以前に取引停止処分を課すことにしております。既に同社を取引停止・出入り禁止処分に課しております）。

それ以前に、弊社理事長みずからが、自ら身を律するために、私費を投じて戸村智憲を事実に基づき法的・倫理的に問題ない限りは遠慮なく徹底的に批判して頂きそのままご指摘を出版する対応を、既にERMレビューVol.4の出版において行っておりました（「戸村へのクロスファイヤー」のコーナーで複数ページに渡り掲載・出版済み）。

また、弊社の社会貢献出版におきましても、弊社客員研究員に対しましても、配車理事長について事実に基づき法的・倫理的に問題ないものであれば、戸村智憲という人物の言行について批判する内容の著作物でも、弊社理事長の私費および弊社の費用負担にて公刊の書籍として検閲や修正依頼を行わずそのまま出版させて頂く旨をご説明申し上げております。

以上につきまして、注意喚起および弊社の対応についてこの場をもってご提示申し上げます次第でございます。

2015年1月17日

日本マネジメント総合研究所合同会社

